

校長室だより～和光高校OB列伝 第1号 H28.4.8

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 達

平成28年度が始まりました。本年度は和光高校にとって開校以来悲願の国際化が進展します。秋にアメリカ合衆国ワシントン州ロングビューに生徒を派遣するのです。実はロングビュー市は和光市の姉妹都市、市の実施する派遣事業に加わらせていただくものです。

和光高校第一期生は今年ちょうど還暦を迎えられます。表題のように今年度は1万人を越す卒業生の中から、社会の第一線でご活躍されているOB諸氏を紹介させていただく予定です。

記念すべき一人目のOBは第4期生の橋本久さん。現在和光市企画部長という重責を担っていらっしゃいます。冒頭の市の国際交流事業を統括されている責任者でもあります。

橋本さんが和光高校に入学されたのは昭和50年の4月、1・2年時の担任は数学の大西隆一先生、3年生は前田洋二郎先生が担任でした。この時の3年4組は男子クラス。今でも固い絆で結ばれているそうです。卓球部に所属していた橋本さんでしたがオイルショックの余波から体育館が未完成。新進気鋭の須藤誠先生率いる卓球部練習場所は現在のテニスコート（校門を入り左手奥）付近のプレハブ校舎の一隅。施設にこそ恵まれませんで



したが、部活動も勉強も歴代最強と言われる4期生。この時代の和光高校を支えるひとりでした。大学を卒業された橋本さんは地元である和光市役所に、最初の勤務は教育委員会だったそうです。ちなみに同じく4期生の奥様とご結婚。変わらない優しい笑顔と有能な仕事ぶりで市の行政を牽引されています。

最後列右から3人目が18歳の橋本さん

～ 橋本さんからのメッセージ ～

4期生の橋本です。和光高校OB列伝の記念すべき第1号に選んでいただき光栄です。諸先輩方とともに学校開設期を過ごした一人として、今でも和光高校の卒業生であることを誇りに思います。

そんなわが母校、和光高校といえばBコース。高校生活の一番の思い出です。晴れの日にはスコップを持ち校庭の整備、天気が悪いとBコース。雪が降る狭山湖周辺のマラソン大会も忘れられません。

また、学校の近くのB級グルメも懐かしい。照龍軒の焼きそば、酒井精肉店の熱々コロッケ、栄蘭のチャーハン、そして駄菓子屋のチェリオ…どれも懐かしい一品です。

当時は、先生方とも非常によい関係で本当に学校が楽しかった思いがあります。ラグビー部の吉田先生の愛読書は「宮本武蔵」。何度も読み返しました。国語の担任だった宮崎先生の座右の銘「行雲流水」。この言葉には、強く影響を受けました。そして、何より公私共に大変お世話になった大西先生。恩師や地域の人たちの支えもあり、昭和の古き良き時代を過ごせたのかとつくづく感謝しています。

在校生の皆さんは、良き伝統を受け継いで、そして、未来に向かって自分の信じる道を進んでいって欲しいと思います。そして、社会人となり、ふと振り返ったときに母校が必ず皆さんをやさしく見守っていてくれます。

このような機会を与えてくださり、また、和光高校の今と昔を掘り下げ、そして未来に向かってメッセージを発信し続けている村田校長先生に感謝と敬意を表します。どうもありがとうございました。

